

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和7 年 3 月 31 日

富士宮市議会議長 諏訪部孝敏 様

会 派 名 称 富岳会

代表者氏名 臼井由紀子

令和 6 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収 入
政務活動費 900,000 円

2 支 出



項 目	金 額 (円)	主 たる 支 出 の 内 訳
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	5,500	辞典購入
会 議 費	3,376	地域医療勉強会
事 務 費	0	
調 査 旅 費	321,345	視察旅費
そ の 他 経 費	8,480	視察の土産代
合 計	338,701	

3 残 額 561,299 円

令和 6 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項 目	内 容	収入金額	支払金額	残 高
4	1	政務活動費	政務活動費3人分	900,000		900,000
8	28	視察旅費	行政視察旅費		321,345	578,655
9	1	その他の経費	行政視察土産代		8,480	570,175
10	4	資料購入費	辞典購入		5,500	564,675
11	22	会議費	地域医療勉強会会場使用料		68	564,607
12	10	会議費	地域医療勉強会講師謝礼		1,750	562,857
12	10	会議費	地域医療勉強会講師交通費		1,422	561,435
12	10	会議費	地域医療勉強会プロジェクター 使用料		136	561,299
			合 計	900,000	338,701	561,299

収入金額 900,000 円

支出金額 338,701 円

差引残額 561,299 円

令和6年 4月 1日

令和6年度 富岳会 年間計画

1. 先進地視察（調査事項）

- ① 環境（再生可能エネルギー先進事例・畜産糞尿のエネルギー化等）
- ② 国土利用計画と自治体の地区計画の先進地視察
- ③ コロナ後の観光戦略

2. 研修会

- ① 議員研修・セミナー等への参加
- ② 各種学会主催の講演会への参加
- ③ その他

3. 資料等購入

- ① 議員活動関連書籍等の購入
- ② 自治体情報月刊誌の購入
- ③ 市内地図等の購入

4. 事務用品購入

- ① 筆記用具等・文房具全般
- ② その他

富岳会

代表者 臼井 由紀子

会 計 小松 快造

第5号様式（第4条関係）

政 務 活 動 費 交 付 決 定 通 知 書

富 行 第 1 2 号 の 2

令 和 6 年 4 月 1 日

富 岳 会

代 表 者 白 井 由 紀 子 様

富 士 宮 市 長 須 藤 秀 忠

令和6年4月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、下記のとおり決定したので通知します。

記

令和6年度交付決定額 90万円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	9 0 0 , 0 0 0 円
内 容	政務活動費 3 人分 臼井由紀子・小松快造・佐野和彦
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和6年 4 月 1 日
摘 要	

視 察 申 請 書

		予算項目		調 査 旅 費		
起 案	令和 6 年 7 月 1 日			決 裁	令和 6 年 7 月 1 日	
所 属		氏 名		備 考		
1	富岳会		臼井由紀子			
2			小松快造			
3			佐野和彦			
4						
5						
視察市町村		視 察 先		目 的		
北海道江別市		カーム角山		家畜糞尿を利用したバイオマス発電について		
北海道勇払郡厚真町		北海道電力苫東厚真発電所		水電解による水素製造装置の導入について		
北海道札幌市		札幌市役所		北海道と札幌市の連携による人口減少対策協働プログラムについて		
北海道雨竜郡妹背牛町		子育て世代交流施設from☆MoKo 妹背牛町カーリングホール		子育て世代交流施設及び妹背牛町カーリングホールについて		
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日		
北海道札幌市		令和 6 年 9 月 2 日		令和 6 年 9 月 4 日		

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	321,345円
内 容	北海道江別市、北海道勇払郡厚真町、北海道札幌市、北海道雨竜郡妹背牛町
目 的	カーム角山 家畜糞尿を利用したバイオマス発電について 北海道電力苫東厚真発電所 水電解による水素製造装置の導入について 札幌市役所 北海道と札幌市の連携による人口減少対策協働プログラムについて 妹背牛町 子育て世代交流施設 from☆MoKo について 妹背牛町 カーリングホールについて
支 出 先	臼井由紀子ほか2人
支払年月日	令和6年8月28日
その他特記事項（参加者・人数等） 臼井由紀子、小松快造、佐野和彦	

— 領収書等貼付欄 —

富山県市議会 富岳会 様		令和6年8月29日
金額	¥ 171,375	収入印紙 500円
但し 2024年の旅行金として ①往復の航空機代 51,600円 上記の金額正に領収いたしました ②レンタカー代 31,500円		
現金		株式会社 ふじ観光プラ 代表取締役 橋本武洋 〒418-0001 静岡県富士宮市万野原 TEL.0544-26-6755 T1080101012027
小切手		
手形		

旅費計算書(政務活動費)

富岳会
(臼井・佐野和彦・小松議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 9 月 2 日 (月) 閑散期

【視察】カーム角山(北海道江別市角山491番地)

富士宮	JR身延線 10.7km (11.7km)	富士	バス	新富士	JR東海道 新幹線 139.4km	品川	京急	羽田空港	航空便	新千歳空港
			バス	190	特 (閑散期)	2,860	私鉄	330	航空賃	25,750 (実費)
新千歳空港	レンタカー	カーム角山	レンタカー	札幌	※札幌市内泊					
		※視察								
JR運賃営業キロ										
150.1										Km
2,640										円
レンタカー (3日間)		5,625 円※								
※22,500円(実費) 4人で案分										

● 2 日 目 : 令 和 6 年 9 月 3 日 (火)

【視察】北海道電力苫東厚真発電所(北海道勇払郡厚真町字浜厚真615番地)、札幌市役所(北海道札幌市中央区北1条西2丁目)

ホテル	レンタカー	北海道電力 苫東厚真発電所	レンタカー	札幌市役所	レンタカー	ホテル	※札幌市内泊
※視察		※視察					

● 3 日 目 : 令 和 6 年 9 月 4 日 (水) 閑散期

【視察】妹背牛町子育て世代交流施設from☆Moko(北海道雨竜郡妹背牛町1区3町内)

ホテル	レンタカー	妹背牛町子育て 世代交流施設	レンタカー	新千歳空港	航空便	羽田空港	京急	品川	JR東海道 新幹線 139.4km	新富士
※視察										
				航空賃	25,750 (実費)	私鉄	330	特 (閑散期)	2,860	
新富士	バス	富士	JR身延線 10.7km (11.7km)	富士宮						
バス		190								
JR運賃営業キロ										
150.1										Km
2,640										円

鉄 道 賃	J R	5,280	円	運賃 A	69,165 円 × 1 人 = 69,165 円							
	私 鉄	660	円		日 当	1,650 円 × 3 日 × 1 人 = 4,950 円						
特 急 料 金	通 常		円			航空運賃	料 金					
	閑 散	5,720	円				車賃(レンタカー)※按分	5,625 円				
	繁 忙		円					車 賃 (バ ス)	380 円			
宿 泊 料	16,500 円 × 2 夜 × 1 人 = 33,000 円											
1人往復運賃合計 A				69,165 円	旅費合計	107,115 円/人 × 3 人 = 321,345 円						

視察報告書

		会 派 名	富岳会
視 察 年 月 日	令和 6 年 9 月 2 日		
視 察 先	北海道江別市角山 565-1 番地 (株) 土屋特殊農機具製作所、(株) カーム、 調査事項：家畜糞尿を利用したバイオ発電について		
参 加 者	小松快造・佐野和彦・臼井由紀子		
視察内容 (概要、取組、 効果、課題等)	(概要) (株) カーム社は、A I にて牛の健康管理を約 520 頭の経産牛を飼育し搾乳を行っている、また糞尿に至っても A I にて管理し (株) 土屋特殊農機具製作所制作のバイオガスプラントに送り込み発酵しガス化、ガス化された再生可能エネルギーを用いて発電機を駆動させ自農場の電気を賄い余剰電力は系統連系にて売電。 C O 2 排出量をほぼ 100%抑えることができる。 (取組) (株) 土屋特殊農機具製作所は、富士宮市朝霧にあるバイオマスプラントに納入し成果を上げている。 スズキ自動車とコラボレインドにてバイオマスプラントの建設を進めている、地球規模にて発生している C O 2 発生による異常気象の抑制に寄与できるのでないか期待する。 (課題) C O 2 の発生は抑止できるが、液肥の部分は牧草地に散布されているとのこと、しかし牧場付近の河川は茶色く濁っており液肥の問題は解決されていないのでないか。 液肥は浄化装置を透しているがどの程度浄化されているのか疑問を感じえない。 この河川は札幌方面に流れ込んでいるのでないかと思われる。 (所感) 環境問題は一日にして成らず。 子供たちにどのような環境を残してやるのか、20 年 30 年先の環境づくりは私達の責任、一人一人が意識し未来の地球環境を作らなければならない。		

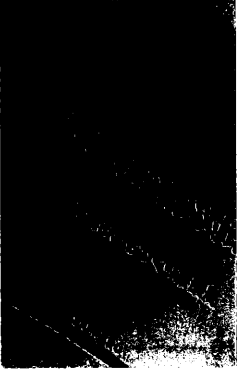
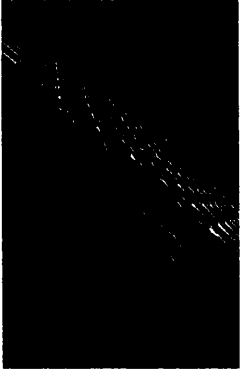
視察報告書

		会 派 名	富岳会
視 察 日 年 月 日	令和6年9月3日（火）		
視 察 先	北海道勇払郡厚真町「北海道電力苫東厚真発電所」		
参 加 者	富岳会：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子 計3人		
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	1. 目的：「水電解による水素製造装置の導入」について 2. 訪問先：北海道電力苫東厚真発電所 3. 概況 火力発電のユニットが3基あり、1号機（35万kw）2号機（60万kw）4号機（70万kw）総出力は165万kw。 敷地面積は59万㎡あり、北海道の電力の三分の一を賄っている。また、海外炭を燃料とする石炭専焼火力発電所として、泊発電所と共に北海道電力の基幹電源としての役割も担っている。 4. 設備、仕組みについて 水素製造設備は、電解層で純水を水電解し高純度の水素を製造でき、火力発電の夜間使われない電気を使用し施設を稼働させている。 電解層の原理として、電解層に供給された純水を電気分解すると、陽極で純水が水素イオン、酸素分子、電子に分解される。 その後、電極複合体膜（固体高分子膜+触媒）が水素イオンのみを透過する性質により水素と酸素が分離され、陰極へ移動した水素イオンと電子が反応することで高純度の水素を発生させる。 設備容量500kwが2系列あり、型式は個体高分子型で、水素製造量は1時間当たり200Nm³作ることができる。 水素純度は99.99%であり、供給水は水道水を使っている。 5. 感想 水道水から水素発電をする仕組みを視察に来たが、その前提となるシステムを動かす電気を作る巨大な火力発電所を、北海道電力の御厚意で見学できた。 これまでの視察で様々な発電所を視察してきたが、このような規模が大きく私が見た中では最大規模となる施設を目の当たりにし、北海道の半分近い電気を作る工程を見られたことにとても感嘆した。 また、夜の余剰電力を使い水素を作る発想は、電力会社でなければできない仕組みであり、できるならばこれらの仕組みを国内にある各発電所に設置できれば、水素を製造できる箇所が増え、夢の水素社会の実現に前進するのではないかと思った。 また、NEDOが公開している「水素電解技術開発ロードマップの策定に向けた課題整理」によればこのような水素製造が国内に広まるのは2030年以降との事だが、国が水素社会に投資を		

本気で示せば、このようなモデル事業を足掛かりに全国に広がるのではないかと感じた。

富士宮市内にも夢の水素エネルギーに興味を持っている会社が多くあるが、水が多くあり富士山がある我が富士宮市でも、国や県と連携し水素製造の仕組みができること1日でも早くできることを目指したい。

視察報告書

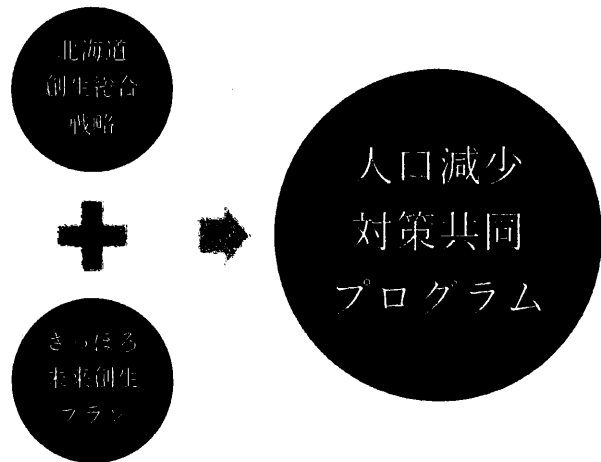
	会 派 名	富 岳 会
視 察 年 月 日	令和6年9月3日(火)	
視 察 先	札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 企画課	
参 加 者	富岳会：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子 計3人	
視察内容	01 視察先の概要 札幌市は北海道の道庁所在地であり、人口1,968,338人／世帯数1,003,859世帯（令和6年9月1日現在）道内一の人口を誇る。 ビールやスキー場に加え、巨大な雪や氷の彫刻が呼び物の毎年恒例のさっぽろ雪まつりで有名である。  02 視察の目的 子ども応援社会の実現や、女性活躍の推進に加え、北海道の魅力やポテンシャルを生かし、国内外から人を呼び込み、人口減少対策に向け、北海道と札幌市が一層連携を深め、北海道全体の創生に向けて共同で各施策を推進している。 「北海道と札幌市の連携共同プログラム」について、札幌市まちづくり政務局様から事業の経緯や担当者の思いなどを、伺う。	

03 これまでの経緯

平成 26 年	「北海道と札幌市の連携による人口減少問題対策協議会」を設置。合計特殊出生率の向上について意見交換、情報共有を実施。
平成 29 年	「北海道・札幌市行政懇談会」において、道市の更なる連携を目指して「人口減少 対策共同プログラム」を検討・実施することが市長と知事の間で合意。 第 1 期「人口減少対策共同プログラム」を策定。
令和元年	第 2 期「人口減少対策共同プログラム (2020～2024)」を策定。
令和 6 年	現在、第 3 期プログラムの策定に向けて北海道と協議中。

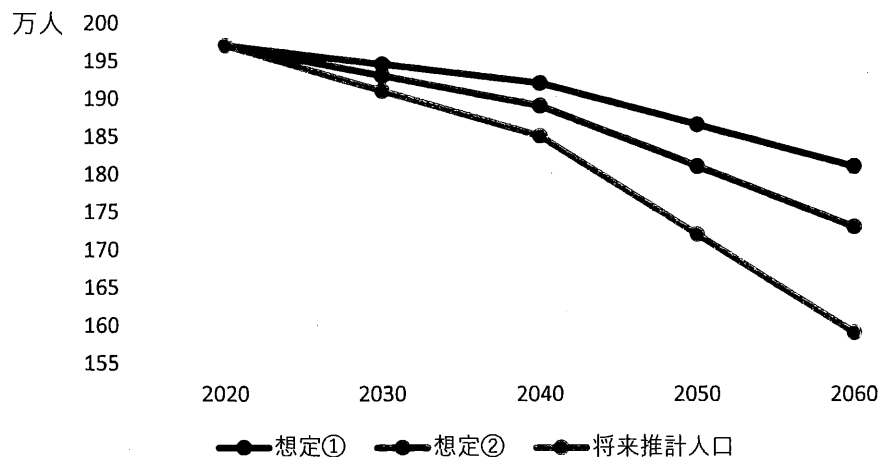
04 実施状況について

北海道と札幌市の連携を総合戦略へ位置付けし「人口減少対策共同プログラム」として実施・継続・拡充をしていく。



子育て環境	北海道結婚・妊娠・出産・育児総合ポータルサイト『ハグコム』において、札幌市を含む道内市町村の子育て支援の取組や窓口を発信。
首都圏等→移住	北海道ふるさと移住定住推進センター（東京：どさんこ交流テラス）による相談及び移住関連イベントや道内市町村の PR 等を実施。
UI ターン 若者の地元定着	北海道が有するインターンシップ受入企業情報を HP 上で公開している他、首都圏等の学生にジョブカフェ北海道において開催するオンラインインターンシップ説明会を周知。
調査・分析	人口移動に関する独自調査の分析結果など双方が持つ各種データ等の相互共有を進める。

05 今後の戦略



自然増加

将来推計人口通りに進むと 2060 年には 40 万人程度減少する可能性がある。人口減少の緩和の取組の推進により、合計特殊出生率が上昇すると仮定した想定①と想定②のグラフのように、人口減少の幅を圧縮することを目指す。

社会増加

札幌市への人口集中に配慮しながら、北海道外の方を中心に人を積極的に呼び込むことで、札幌市、札幌圏、ひいては北海道全体の人口減少の緩和に寄与する。

次期プランでは、**自然増加**と**社会増加**の両面から人口減少をより緩やかにするため、「質の高い雇用創出」「魅力的な都市づくり」「結婚・出産・子育てを支える環境づくり」「若い世代に向けたアフターアプローチの強化」など人口減少の緩和に向けた取組を推進していく。

06 視察から得られた学び

一定程度の人口減少は避けられない前提のもと、市民が満足する行政サービスを持続的に提供することが重要である。

そのためには、北海道及び札幌市が同じ目的に対して、「人口減少対策共同プログラム」に基づき、互いの取組を情報共有・役割分担の下、北海道の人口減少問題の対策に取り組むこと。

担当職員からは、

「札幌市が衰退すること＝北海道が衰退すること」と強い危機感と使命感を感じた。

視察報告書

会 派 名 富岳会	
視 察 日 年 月 日	令和6年9月4日（水）
視 察 先	北海道雨竜郡妹背牛町 「妹背牛町子育て世代交流施設 from☆Moko」 「妹背牛町カーリングホール」
参 加 者	富岳会：小松快造、佐野和彦、臼井由紀子 計3人
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	1. 目的：世代間交流施設、カーリング場の活用について 2. 訪問先：北海道雨竜郡妹背牛町 「妹背牛町子育て世代交流施設 from☆Moko」 「妹背牛町カーリングホール」 3. 概要 人口約2,600人、札幌と旭川の間にある小さな農業のまち総面積は48.64㎢で山や丘陵地帯は全くなく池や沼地の少ない平坦で肥沃な土地から出来る米は良質米として有名である。妹背牛はアイヌ語の「モセユーセ」の変化したもので、その意味は「イラ草」の茂る場所と訳す。 4. 取組について 空き家を改修した子育て世代交代施設の運営、町としてカーリングホールを所有し、その普及に努める。 5. 課題 現在は、イベントを除き利用対象者を町内居住者もしくは町内居住者の家族に限定しているがその範囲や機能を広げてゆく必要がある。 6. 所感 2021年12月にオープンした子育て世代交流施設「from☆MOKO」（フロムモコ）は、「何があったら親子の笑顔を増やせるだろうか」を考えた町と、町内在住の親子、地元工務店の3者が、計画段階から協力し、町民参加型の施設として誕生した経緯を持つ。築60年の空き家を60万円、その隣地の広場を29万4千円で、合わせて89万4千円で用地を取得し、リノベーションにかかった費用2,440万円は国からの補助金1千万円を充てたという。 昨今、夏は猛暑、冬は寒波の対応策として屋内施設は、私たち富士宮市でも必要だと考える。延べ床面積196㎡の中には、ボルダリングの壁や、トンネルなどのアスレチック、大きな黒板、ハンモックなどの子どもたちの遊べるスペースのほか、電子レンジや授乳用個室と、それほど広くはない空間に、親子の気持ちがぎゅっと詰まった温かい施設であると真に感じた。また、施設を運営・管理している町役場の会計年度職員も含めた担当の職員の皆様からも、まちへの温かい想いと優しさを感じた。こういったところから出る雰囲気良さや、施設を利用する際のルール、行

政と市民を交えた定例会の実施など、ハード面での整備だけで終わることなく、ソフト面でのフォローを継続していくことの重要性を痛感した。

施設を作ったら終わり、事業を始めたならそのまま続ける、では加速的に変容する社会情勢に対応することはとてもできず、何よりも、その場をどのように使っていくのか、市民と行政とが共に考えつづけ、対話を続けることがよりよい施設づくり、まちづくりにつながる一つの大切な要素だと感じた。

カーリングパークも、道内で2番目にできたものであり、冬にカーリング場として使われるのはもちろん、夏は「みんなの遊び場」として活用し、利用促進に繋げている。カーリングのような、その地域特有のスポーツを活かした観光客誘致や市民健康施策にまちの発展の可能性を感じた。我が市でも、ソフトボール対抗戦や卓球プロリーグなどの開催実績があることから、一部の市民のみならず多くの者がそれらを知り、観戦したりスポーツの良さを知るなど、その裾野が広がっていくことの必要性を感じた。

支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	8,480 円
内 容	行政視察の土産代
目 的	カーム角山、北海道電力苫東厚真発電所、札幌市役所、 雨竜群妹背牛町の行政視察の土産代として
支 出 先	株式会社田子の月
支払年月日	令和 6 年 9 月 1 日
その他特記事項(参加者・人数等) 菓子代2,120円×4個	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	その他の経費	内容	行政視察の土産代
----	--------	----	----------

領収書等貼付欄

2024年 09月 01日

富岳会

領 収 書
様

NO. [REDACTED]

¥8,480-

(内消費税 ¥628-)

但

(内クレジット ¥8,480-)

上記正に領収いたしました。
(8%対象 ¥7,852 税 ¥628)

株式会社田子の月 富士宮阿幸地店

担当印



登録事業者 T6080101009002

静岡県富士宮市城北町775 Tel.0544-27-5546

領収書明細

2024年09月01日 12:12 1010-01>

[REDACTED]

富士山もなか10個

※ 8% 2,120 x 4 = 8,480

小 計 ¥8,480

合 計 ¥8,480

(内消費税 ¥628)

(8%対象 ¥7,852 税 ¥628)

注)※は軽減税率8%適用商品

登録事業者 T6080101009002

シートNO [REDACTED]

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	5, 5 0 0 円
内 容	地方議会運営辞典購入代
目 的	議会運営のための参考資料
支 出 先	(株) 谷島屋富士宮店
支払年月日	2 0 2 4 年 1 0 月 4 日
その他特記事項 (参加者・人数等) 地方議会運営辞典 1 冊	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 書
富 士 宮 店 様

領収日 2024年10月04日

領 収 書 番 号
(領 収 書 番 号)

¥ 5, 5 0 0 -

(内 (10%) 税抜 ¥5,000- 消費税 10% ¥500-)
(内 (8%) 税抜 ¥0- 消費税 8% ¥0-)上記消費税 500円を含みます
注) §は軽減税率 (8%) 適用商品

但し、書 籍 代

上記正に領収いたしました
株式会社谷島屋 富士宮店
静岡県富士宮市宮北町7 1

扱者 0544-22-8020

登録番号 T9080401005490



研修報告書

		会 派 名	富岳会
研 修 年 月 日	令和 6 年 12 月 10 日 (火)		
研 修 名	地域医療勉強会		
参 加 者	佐野和彦、臼井由紀子		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	現在の富士地域医療圏の状況を考え、公立病院を含めた地域医療の在り方を学ぶ機会を設けるため、地域医療勉強会を大富士交流センター第 3 会議室で開催。全 22 議員に呼び掛けたところ、16 氏の参加があった。 講師には、津田塾大学総合政策学部の伊藤由希子教授を迎えた。伊藤教授は医療経済学を専門にしており、内閣府や厚生労働省の委員を歴任し、現在、富士市の新病院建設基本構想等審議会の会長を務めている。 伊藤教授は昨年 4 月 22 日に富士宮市立病院で聞き取り調査を実施しており、今回の勉強会では富士市新病院建設基本構想等審議会における答申と合わせて解説。全国で問題となっている医師不足や病院存続に向けた取組も紹介された。 富士宮市立病院、富士市立中央病院、共立蒲原総合病院の分析では、機能の重複、距離的な近接の視点で機能分化と連携強化が必須であると指摘。人口減少が進み、外来・入院患者数、収益などの推移をシミュレーションした場合、既存のフルスペックの診療科を設けることは困難であると分析し、医療圏域での連携強化がますます必要になってくることを訴えた。 現在、富士医療圏域では富士市立中央病院の建て替えに向けた議論が進んでいる。富士宮市立病院も現在病院の在り方検討会が報告書の公表の準備を進めている。地域医療の根幹となる基幹病院の存在意義と合わせいかに地域の医療ニーズに対応していくのか、議会としても議論を進めていかねばならないと感じた。 更に、富士医療圏の救急体制についても富士宮市議会として議論を重ねていかなければならないと感じた		

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	68 円
内 容	勉強会会場使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支 払 年 月 日	6 年 11 月 22 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:臼井由紀子、佐野和彦	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

令和 6 年 11 月 22 日

住 所 富士宮市黒田 59-1
 団体名 富士宮市議会地域医療勉強会
 氏名又は代表者名 中野 健太郎
 (連絡責任者)

富士宮市大富士交流センターの使用について、下記のとおり許可します。

使用日時	令和 6 年 12 月 10 日 (火 曜日) 9 時 00 分 から 12 時 00 分 まで		☒ 下記のとおり	
行事名 ・ 内容	研修会	入場予定者数	15 人	
		入場方法	無料・有料 商業宣伝・その他	
会場責任者	〒 住所 氏名 同上 (電話番号)	入場料金	0 円	
	備考 (附属設備使用)	1. 音響装置 6. ピアノ 2. プロジェクター 7. PA 3. スクリーン ⑧ Wi-Fi 4. 演台 9. その他 5. 舞台 ()	利用料 (基・営・市外・入場料)	550 円

※許可番号	
※許可年月日	6.11.22

	使用日時(曜)・区分														
	12月10日(火)			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
集会室1															
集会室2															
会議室1															
会議室2															
会議室3	○														
会議室4															
和室															
調理室															

許可条件 富士宮市大富士交流センター条例、同施行規則及び係員の指示を守ること。

(注) 使用の取消と既納利用料の還付について

取消の場合は、使用日の8日前まで全額還付、7日前から4日前まで7割還付、3日前のみ5割還付
 2日前から当日は還付がありません。

※上記の日時までに窓口にて取消手続きを行わないと、既納利用料の還付はできません。

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1,750 円
内 容	講師謝礼
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:白井由紀子、佐野和彦	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講師謝礼
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 14,000円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の講師料として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒 [Redacted]
氏名 伊藤由希子



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1,422 円
内 容	講師交通費
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者: 臼井由紀子、佐野和彦	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別 紙

領収書等貼付用紙

項 目	会議費	内 容	講師交通費
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 11,380円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の交通費として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒
氏名

伊藤 由希子

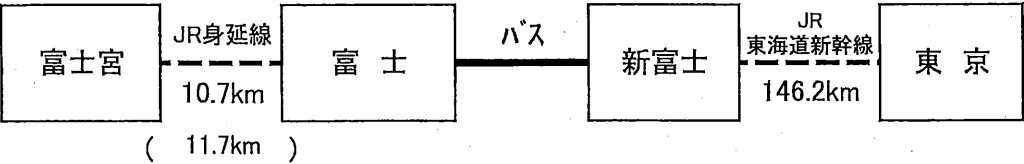


旅費計算書(政務活動費)

会議費

研修: 地域医療勉強会
会場: 大富士交流センター 第3会議室(富士宮市万野原新田4136-6)

● 令和6年12月10日(火) (往復) ※閑散期



バス	190	特 閑散期	2,860
----	-----	----------	-------

JR運賃営業キロ	
156.9 Km	
2,640 円	
バス	190 円

鉄道賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,380 円 × 1 人 = 11,380 円		
	私鉄	円				
特急料金	通常	円	日当			
	閑散	5,720 円		円 × 日 × 人 = 0 円		
航空運賃	繁忙	円	宿泊料			
	料金	円				
車賃 (バス)		円				
		円		円 × 夜 × 人 = 0 円		
		380 円	1人往復運賃合計 A			
		円				
		11,380 円	旅費合計	11,380 円/人 × 1 人 = 11,380 円		

※旅費計算表に基づく

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	136 円
内 容	勉強会プロジェクター使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:臼井由紀子、佐野和彦	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	会場プロジェクター使用料
領収書等貼付欄			

領収書

発行日 令和6年12月10日

地域医療勉強会 様

¥ 1,100

但し、令和6年12月10日 利用の備品代として
上記正に領収いたしました。



内訳

税率	税抜金額	1,000	円
10%	消費税額	100	円
税率	税抜金額	0	
8%	消費税額	0	

富士宮市

大富士交流センター 指定管理者
(公財) 富士宮市振興公社
Tel 0544-28-0024
登録番号：T1080105003625

No. [Redacted]

令和6年12月4日

津田塾大学 総合政策学部
教授 伊藤 由希子 様

地域医療勉強会
幹事 望月 芳将
中野 健太郎

地域医療勉強会の講師について(依頼)

師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記議題をテーマに地域医療勉強会を開催することとなりました。
つきましては、御多用の折誠に恐縮ですが、勉強会にて講師を依頼したく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 令和6年12月10日(火)午前10時から11時45分まで
- 2 場 所 大富士交流センター第3会議室
(富士宮市万野原新田 4136-6)
- 3 対象者 富士宮市議会議員14名
- 4 勉強会の議題
地域医療の現状、自治体病院の在り方について等
- 5 謝礼等 謝 礼 14,000円
交通費 11,380円

以上

問い合わせ先

富士宮市議会議員 中野 健太郎

電話(0544)27-6035 携帯

e-mail

12月10日(火)地域医療勉強会参加者名簿

No.	出欠席	会派	氏名
1	✓	公明会	佐野 寿夫
2	✓	公明会	山藤 陽子
3	✓	明和	辻村 岳瑠
4	✓	明和	佐野 和也
5	✓	明和	芦澤 秀典
6	✓	明和	平下 尚己
7	✓	明和	中野 健太郎
8	✓	富岳会	佐野 和彦
9	✓	富岳会	臼井 由紀子
10	✓	至誠	鈴木 弘
11	✓	超党派虹の会	渡辺 佳正
12	✓	超党派虹の会	稲葉 晃司
13	✓	超党派虹の会	近藤 千鶴
14	✓	無会派	望月 芳将
15	✓	無会派	仲亀 恭平
16	✓	無会派	岩村 恵美
17			
18			
参加者合計		16	名